



# HI-HAT STAND HS740

## 取扱説明書

このたびは、ヤマハ・ハイハットスタンドをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。  
製品の機能をよく理解していただき、末永くご愛用いただくために、本取扱説明書をよくお読みください。

### 安全へのこころがけ

ご使用前に、この『安全へのこころがけ』をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
ハイハットスタンドはドラム本体とシンバル、スティック等とともに使ったり、単体として使います。  
室内での置き場所や日常の取扱いについて、下記の注意を必ず守ってください。  
特に小さなお子様には、最初にご家族の方、または指導者から  
取扱い方法の指導をお願いいたします。

### 人身傷害の危険を防止するには ~以下の指示を必ず守ってください~

#### 絵表示について

- ・この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。
- ・絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。



注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為を告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



固定用ネジはしっかり締め付けてください。



先端が鋭利な部分に触れる時は十分な注意をしてください。  
機能上先端部分が針状になっている部品があります。(ハイハットスタンドのストッパー等) けがの原因となるので取扱いには十分注意してください。  
また遊びの道具として使用しないでください。



**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



フットボードの下や可動部に、手や足を入れないでください。  
挟まれてけがの原因となります。



ハイハットスタンドを単品で使う場合も取扱いには十分注意してください。



演奏中にゆるみを生じないように、各固定ボルト・調整ボルトはしっかりと締め付けてください。



よりスムーズなアクションを保持するために、可動部分には時々グリス等の油を塗布してください。

※ 製品の規格及び仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

### ① シンバル受け皿

ボトムハイハットシンバルを取り付けるには、まずハイハットクラッチを取り外し、フェルトの上にボトムハイハットシンバルをのせます。  
この時、シンバル受け皿の上に金属板とラバーが付いているのを確認してください。  
シンバルの傾きは、受け皿下部にあるツマミボルトを回して固定ナットにて固定してください。

### ② ハイハットクラッチ(LC-930)

トップハイハットシンバルを2つのフェルトの間にはさんで固定させるためのものです。

#### 【手順】

- 1) クラッチナットの締付角ボルトAをゆるめ、クラッチナットをクラッチボルトから取り外します。
- 2) 下部フェルトを取り外し、シンバルを上部フェルトと取り外したフェルトの間にはさみます。
- 3) 取り外したクラッチナットをクラッチボルトに十分ねじ込みます。十分にねじ込んだ後、締付角ボルトAを締めるとクラッチナットがロックされます。締付角ボルトAはあまり強く締めなくても十分ロックできますので、締め過ぎてネジを壊さないように注意してください。
- 4) ロックナットはシンバルをはさむ強さを調節するものです。締付角ボルトBをゆるめ、ロックナットを上下させます。お好みの位置が決まりましたら、締付角ボルトBを締め、ロックナットをロックします。締付角ボルトBはあまり強く締めなくても十分ロックできますので、締め過ぎてネジを壊さないように注意してください。

### ③ 位置決めストッパー

ハイハットシンバルの高さを決めたら、メモリーの為に位置決めストッパーを締付ベースの上で固定します。その際、位置決めストッパーは位置決めホルダーにはめてください。  
演奏中に上パイプの高さを防止するためにもドラムキーでしっかりと締めてください。

### ④ スプリングテンション

大型アジャスティングダイヤルでスプリングの強さを調整します。右に回すと強く、左に回すと弱くなります。又、同時にインジケーターでポジションが確認できます。

### ⑤ 連結棒

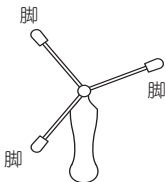
連結棒をフレームの孔に取り付けてフットボードをフレームに固定します。

### ⑥ ストッパー

ハイハットスタンド全体が前進するのを防ぎます。前脚の脚ゴム内とフレームの合わせて4ヶ所に針があります。脚ゴム内の針はドラムキーボルトをゆるめると出てきます。フレームにある針は時計方向に回すと飛び出しますので、必要な長さに調整してご使用ください。

### ⑦ 脚の位置調整

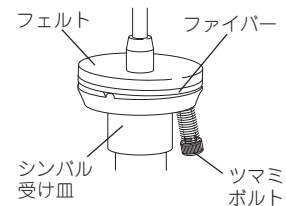
右図のA、Bの2ヶ所のボルトを緩めると、脚(フットボード)の位置を変えることができます。位置が決まったら、A、Bのボルトをしっかりと締めてください。  
尚、セッティングされる際のスペースの確保と、スタンドをより安定させるため、左図の様な位置に脚をセットすることをお勧めいたします。(本図は右利き用のセッティングとなっています。左利き用の場合は左右対称の位置にセッティングをしてください。)



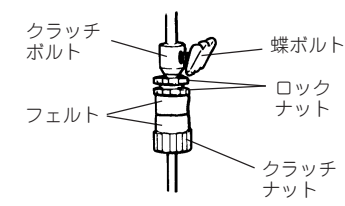
注)

よりスムーズなアクションを保持するために、可動部分には時々グリス等の油を塗布してください。  
又、締付ベース内にあるナイロンクラッチをむやみに空締めしますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

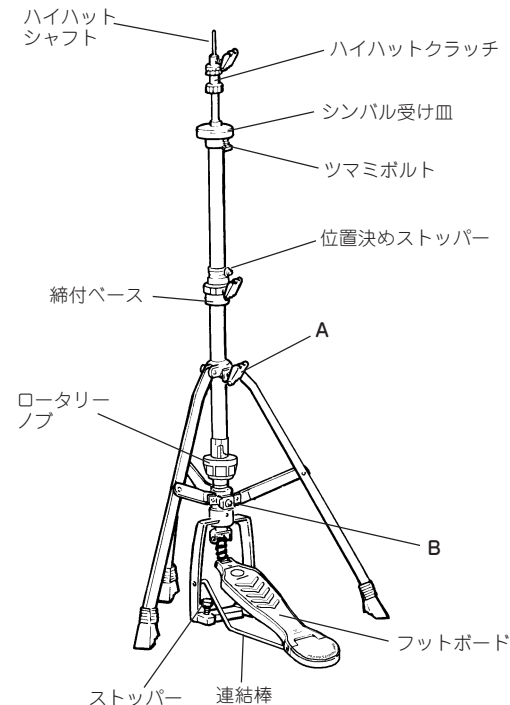
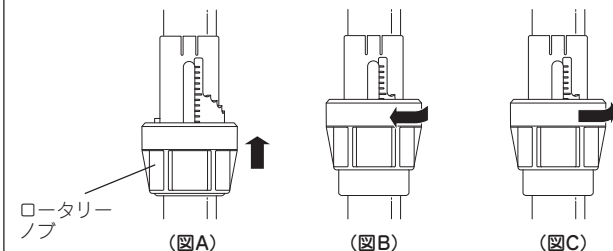
### ● シンバル受け皿



### ● ハイハットクラッチ



### ● スプリングテンションの調整



ヤマハ株式会社

弦打楽器事業部 営業部 ギター・ドラム国内営業課  
〒430-8650 浜松市中区中町10-1 TEL. (053)460-2433